

熊取町議会委員会会議録

都市計画道路建設促進特別委員会

令和3年3月29日開催

熊 取 町 議 会

目

次

[都市計画道路建設促進特別委員会]
都市計画道路「大阪岸和田南海線」「泉州山手線」の状況について…………… 1

都市計画道路建設促進特別委員会

月 日 令和3年3月29日（月曜）招集

場 所 熊取町役場議場

出席委員	委員長	坂上 巳生男	副委員長	河合 弘 樹
	委員	大林 隆 昭	委員	坂上 昌 史
	委員	鱧谷 陽 子	委員	二見 裕 子
	委員	矢野 正 憲		

欠席委員 なし

説明員	町 長	藤原 敏 司	副町長	南 和 仁
	総合政策部長	明松 大 介	総務部長	林 利 秀
	都市整備部長	矢部 義 雄	都市整備部理事 兼道路課長	白川 文 昭
	道路課参事	宮内 要重男		
事務局	議会事務局長	藤原 伸 彦	書 記	瀬野 裕 三

付議審査事件

- 1) 都市計画道路「大阪岸和田南海線」「泉州山手線」の状況について

委員長（坂上巳生男君）皆さん、こんにちは。皆様方には、本特別委員会にご出席を賜りまして、ありがとうございます。

本日の審議に当たりましては、議会委員会条例第19条の規定により、町長ほか関係職員の出席を求めています。

ただいまの出席委員は7名全員であります。定足数に達しておりますので、ただいまから都市計画道路建設促進特別委員会を開会いたします。

なお、発言される方は、挙手の上、着座で、マスクはつけたまま、マイクを使っていただきますようお願いいたします。

（「15時00分」開会）

委員長（坂上巳生男君）本日の案件は、都市計画道路「大阪岸和田南海線」「泉州山手線」の状況についての件、1件であります。

それでは、案件1、都市計画道路「大阪岸和田南海線」「泉州山手線」の状況についての件を説明願います。白川都市整備部理事。

都市整備部理事兼道路課長（白川文昭君）それでは、事前にお配りいたしております資料に基づきましてご説明させていただきます。

都市計画道路「大阪岸和田南海線」「泉州山手線」の状況についてご説明いたします。

資料1ページをお開きください。

大阪岸和田南海線の状況でございますが、まず、第1期事業区間といたしまして、泉佐野市界から府道泉佐野打田線までの約850メートルについてご説明いたします。

委員の皆様方につきましては、3ページ目の地図のページをご覧ください。

図面の左側部分が1期事業区間で、平成28年3月、大阪府都市整備中期計画の中間見直しにおきまして事業全面再開に位置づけられ、道路詳細設計修正業務の実施、用地買収、図面赤色旗揚げ区間での整備工事などが進められ、令和2年度におきましては、これまで測量着手ができなかった青葉台地区において、現況測量及び道路詳細設計を実施したところでございます。

令和3年度につきましても、引き続き、青葉台地区において境界画定業務等の用地測量を実施するとともに、整備工事、電線共同溝詳細設計を行っていく予定でございます。

事業用地の買収につきましては、測量を着手し、交渉を始めていない青葉台地区を含め、残り16者となっております。

続いて、後ほど次第のその他でご報告させていただく予定ではありますが、先週3月25日に令和3年から令和12年の次期大阪府都市整備中期計画が公表された中で、当該事業路線が令和12年度までに概成の目標が示されたところでございます。

続きまして、第2期事業区間ですが、府道泉佐野打田線から国道170号大阪外環状線までの約600メートルです。

同じく平成28年3月、大阪府都市整備中期計画の中間見直しにおいて事業着手に位置づけられ、令和元年度に、泉佐野打田線から雨山川までの用地測量、雨山川・住吉川を横断する橋梁の予備設計、土質調査業務、物件調査及び用地買収が行われました。令和2年度には、用地測量が紺屋地区に測量範囲拡大され、橋梁の詳細設計業務、泉佐野打田線・大阪外環状線交差の交差点詳細設計、電線共同溝予備設計、物件調査及び用地買収が実施されました。

令和3年度におきましては、泉佐野打田線・大阪外環状線交差部用地測量、橋梁部等の道路詳細設計修正、電線共同溝詳細設計、物件調査及び用地買収を予定しているところでございます。

用地買収の状況ですが、47者中、既に5者より事業用地を取得してございます。

また、1期区間と同様に、次期大阪府都市整備中期計画において、令和12年度までに概成の目標が示されたところでございます。

続きまして、2番、泉州山手線の状況です。

4ページの図面をご覧ください。

平成30年11月、事業化候補区間のうちそれぞれ事業着手工区が設定され、岸和田工区として、都市計画道路磯之上山直線から都市計画道路岸和田中央線の（仮称）山直・修斉区間と、貝塚工区として、都市計画道路貝塚中央線から府道水間和泉橋本停車場線、（仮称）せんごく・熊取区間の2区間が設定されたところでございます。

事業着手としましては、本町に関連しますせんごく・熊取区間のうち、貝塚市の名越工区とされ、令和元年度から現況測量、高架橋ほか予備設計が着手されてございます。令和2年度においても、道路詳細設計、用地測量が実施されたところでございます。

本町の当該事業に関わります整備促進支援の状況につきましては、令和2年度から、貝塚市と合同で七山北地区の地籍調査に着手したところでございまして、名越工区の後には、大阪外環状線までの工区選定をいただき、速やかに着手いただけるよう令和4年度までの境界画定作業を行っているところでございます。

本町におきましては、南海ニュータウン地区において既に事業予定地の6割もの先行買収地が確保されており、大阪府に対し、このメリットをしっかりと要望しているところでございまして、委員の皆様方におかれましても、バックアップのほどよろしくお願いいたします。

続きまして、3、その他、大阪府都市整備中期計画についてご説明いたします。

大阪府都市整備中期計画につきましては、大阪府において10年ごとに重点的に実施していく事業として公表され、5年ごとに中間見直しが行なわれるものです。本年度につきましては、改正の年度であり、令和3年から令和12年度までの重点事業及び目標設定がされたところでございまして、整備方針というべき本編が令和3年1月に公表され、事業区間や着手、完了などの目標についてが別冊参考資料として公表されるもので、先週の3月26日に公表されたところでございます。

資料5ページ以降に公表資料の抜粋を添付してございます。6ページからが大阪府において重点的に実施していく路線として公表されたもので、熊取町域においては7ページ記載のとおりで、着色している路線となっております。着色部の上から、大阪岸和田南海線、国道170号から府道泉佐野打田線までの間、本町で2期区間と位置づけている箇所でございます。その下、町道芦谷交差

区間から泉佐野市界までの間、本町1期区間と位置づけているところです。令和12年度までの事業の状況といたしましては、いずれも12年度までに概成する区間と位置づけられたものでございます。

岸和田南海線につきましては、5年前の平成28年度の間見直しにおいて事業再開に位置づけられ、現在事業に取り組んでいるところではございますが、10年前の平成23年は、条件付現道利用の北側歩道のみ設置の位置づけにとどまっていたところであり、今回の4車線の概成が示されたことにつきましては、非常に大きな位置づけがされたことと考えてございます。

続きまして、国道170号、これは大阪外環状線でございます、事業内容として機能強化が示されております。これは暫定2車線から4車線化の事業となっております。令和12年度までの目標については、概成、着手の条件付とされてございます。本町にあっては、大阪岸和田南海線の概成、開通が条件となっております、岸和田南海線の概成のめどが立った時点での着手となるものでございます。

これらの路線につきまして、本町におきましては、道路課と事業主体の岸和田土木において月1回の連絡会議を開催し、進捗状況の情報共有に努め、早期の概成に向けた協力体制を構築してございます。また、これまで、事あるごとに事業推進に対し要望に努めてまいりましたが、引き続き早期の概成に向け要望してまいります。委員の皆様におかれましても、バックアップのほどよろしくお願いいたします。

以上、ご理解、ご協力をお願い申し上げ、各事業の状況についてのご説明とさせていただきます。委員長（坂上巳生男君）それでは、質疑を行います。質疑はありますか。ございませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

以上で質疑を終わります。

これをもって、案件1、都市計画道路「大阪岸和田南海線」「泉州山手線」の状況についての件を終了いたします。

以上で、本日の案件は終了いたしました。

委員長（坂上巳生男君）その他、何かご報告等があれば承ります。ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、以上で都市計画道路建設促進特別委員会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。

（「15時11分」閉会）

以上の委員会の次第は議会議務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するため、ここに署名する。

都市計画道路建設促進特別委員会委員長

坂上巳生男